

5. 基金の推移

歳入不足を補うため財政調整基金の取崩しを行うことで収支均衡を図ることから、財政調整基金残高は年々減少し、令和10年度には25億円まで減少しますが、目標である標準財政規模の15%以上は確保しています。その後は、算入公債費の増加等により普通交付税が増加することなどから黒字に転じ、計画最終年度の令和11年度末には28億円まで増加すると推計しています。

減債基金については、消防救急デジタル無線整備事業等の償還金へ充当するため、一定額を取り崩すこととします。

(単位：百万円)

項目	決算値					計画値				
	R2末	R3末	R4末	R5末	R6末	R7末	R8末	R9末	R10末	R11末
基金残高	3,101	3,066	2,903	3,140	3,439	3,172	2,869	2,717	2,577	2,826
財政調整基金	2,944	3,011	2,851	3,090	3,383	3,119	2,817	2,667	2,529	2,780
減債基金	157	55	52	50	56	53	52	50	48	46

(単位：百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
標準財政規模	16,685	16,874	15,956	15,465	14,977	14,737	14,564	14,788	15,008	15,278
15%相当額	2,503	2,531	2,393	2,320	2,247	2,211	2,185	2,218	2,251	2,292

(注) 各年度における標準財政規模は推計値です。

ふるさと応援基金については、対象となる事業を選定し、有効に活用するため、一定額の繰入金を見込んでいます。令和7年度以降、寄附額を超える額を繰り入れるため、基金残高は減少していますが、今後も寄附金の増加の取組を進めていくことから、寄附金を有効活用しつつ、一定程度の残高は確保していくこととしています。

(単位：百万円)

項目	決算値					計画値				
	R2末	R3末	R4末	R5末	R6末	R7末	R8末	R9末	R10末	R11末
ふるさと応援基金残高	1,338	1,633	1,822	2,004	2,291	2,079	1,829	1,579	1,329	1,079

基金の推移

